

# さといもの高畝マルチ無培土による有機栽培体系と経営収支

山形県農業総合研究センター食の安全環境部

## 研究のねらい

有機農業を志向する生産者が、水田転換畑等でさといもの有機栽培を行うための基本技術を確認するため、本県に適応した高畝マルチ無培土栽培による有機栽培の体系化実証を行い、経営収支を明らかにした。

## 研究の成果

- ① さといもの有機栽培を行う場合は、高畝マルチ無培土栽培とし、芽出しした種いもを4月下旬～5月中旬に植え付け、畝間の雑草対策とかん水を十分に行うと、10月中下旬の収穫で、10a当たり2t以上の商品収量が見込まれる（図1、表1）。
- ② さといもの有機栽培では、畝間の雑草対策として黒マルチで被覆することにより、除草剤を使用した慣行栽培と同等の収量となる。また、中耕除草を行った場合と比較して、除草に伴う労働時間を低減できる（図1、表1）。
- ③ さといもの有機栽培は、堆肥等の散布、雑草対策の中耕または畝間マルチ被覆等の作業に伴い、慣行栽培より労働時間が増えて追加雇用（賃金）が必要となるなど掛かり増し経費が発生するため、慣行栽培と同等の経営収支にするためには、さといもの販売単価に約21円/kgの上乗せが必要である（表1）。

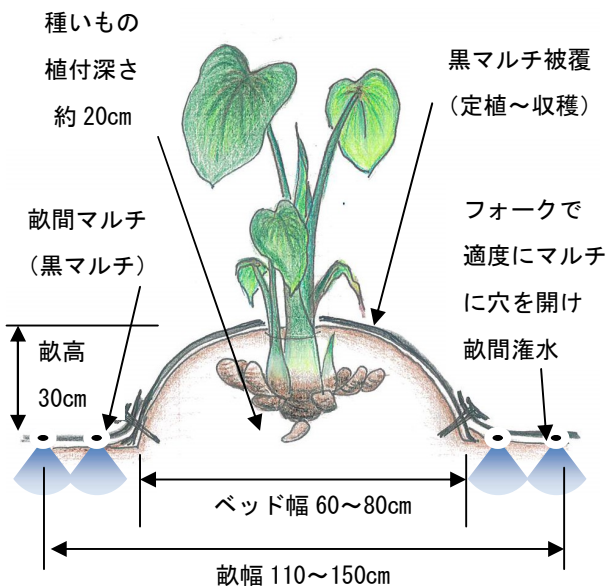


図1 さといもの有機栽培の模式図

表1 さといもの有機栽培の10aあたり経営収支

項目	Y市現地圃場		T市現地圃場	
	有機栽培	慣行栽培	有機栽培	慣行栽培
総収量	2.7t/10a	2.7t/10a	2.4t/10a	2.4t/10a
商品収量	2.2t/10a	2.1t/10a	2.0t/10a	2.0t/10a
実販売数量	1.4t/10a		1.6t/10a	
販売単価	757円/kg		300円/kg	
粗収益	106万円/10a		48万円/10a	
種苗費	64,345円	75,700円	34,500円	39,000円
肥料費	33,414円	17,497円	30,000円	12,000円
農薬費	-	1,450円	-	1,450円
雑草対策経費	10,000円	-	14,300円	-
諸材料費	14,637円	16,728円	9,000円	10,000円
合計	122,396円	111,375円	87,800円	62,450円
掛かり増し費用①	11,021円	-	25,350円	-
労働時間	142時間	120時間	134時間	125時間
(うち雑草対策)	16時間	2時間	8時間	5時間
雑草対策内容	中耕 草刈り	除草剤	うね間 マルチ	除草剤
掛かり増し賃金②	18,106円 (22h × 823円)		7,407円 (9h × 823円)	
掛かり増し経費①+②	29,127円		32,757円	
上乗せ単価※	20.8円/kg		20.5円/kg	

※掛かり増し経費/実販売数量

問い合わせ先：食の安全環境部 TEL:023-647-3500